

週刊

# 愛知民報

2022年  
2月20日  
第2574号

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号  
愛知あかつき会館内  
☎(052) 251-2925 F A X(052) 261-6063  
定価 月 400円 郵送料 168円 1部 100円  
毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)  
1966年7月31日第三種郵便物認可



比例代表・参議院議員

## ただ良介



愛知選挙区・党副委員長

## すやま初美

98年の参院選で、日本共産党は史上最高の15議席を獲得しました。愛知では95年の得票を倍化し、36万8872票を獲得しました。

# 迫る参院選 一日本共産党 愛知委

# “必勝モード”突入

## 日本共産党躍進の3つの意義

- ①日本共産党の躍進は、岸田自公政権に厳しい審判を下し、政権交代の足掛かりをつくる最大の力になる
- ②自公と補完勢力による「翼賛体制」づくりを許さない最強の力になる
- ③野党共闘の大局的發展にとっての何よりの推進力となる

愛知の日本共産党の今回の参院選の比例代表選挙の得票目標は「33万票、10%以上」を獲得し、ただ良介参院議員をふくむ比例5議席を「絶対確保」すること。定数4の愛知選挙区の目標は、すやま初美氏の当選をかねて、改憲をねらう

## 98年 比例 36万票こす 選挙区 八田氏当選

2016年参院選で日本共産党は比例5議席を獲得。愛知は31万1967票で、ただ良介比例候補を初当選させました。愛知選挙区(定数4)では、すやま初美氏は前回候補の得票を3万余のばし30万3489票はばつぐんです。

## 3本柱の活動

- ①宣伝大攻勢、「折り入って作戦」と「赤旗」読者拡大の飛躍
- ②日本共産党綱領の新リーフを活用し積極的支持者を増やす大作戦
- ③世代的継承を中軸とする党員拡大

## 16年 比例 たけだ氏初当選 選挙区 すやま氏惜敗

当時定数3の愛知選挙区では日本共産党の八田広子氏が45万票を得て当選し、自民党は議席を失いました。

## 大活躍

ただ良介参院議員は、参議院の国土交通委員や災害対策特別委員をつとめ、国民の利便向上と安全確保の実績はばつぐんです。

## 党躍進・改憲阻止へ意気込む

# 比 例 た け だ 愛 知 選 挙 区 す や ま 両 氏 全 力

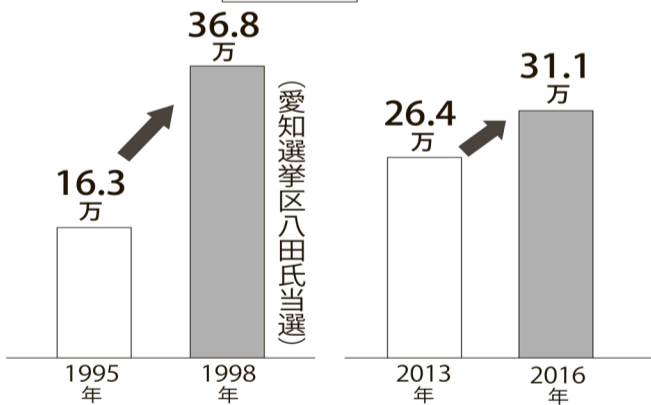
党副委員長、すやま初美氏は、党愛知県委員会の新型コロナ対策本部長、ジェンダー平等委員会責任者をつとめ、東奔西走しています。

## 自民・公明 参院議員 賛成・推進した悪法・悪政

- ◆消費税増税(2019年8%→10%)
- ◆公立公的病院の統廃合、病床削減
- ◆75歳以上の医療費窓口負担2倍化
- ◆非正規労働の拡大、男女賃金格差
- ◆カジノ実施法(18年)
- ◆原発再稼働、石炭火力増設
- ◆共謀罪法(17年)など違憲立法
- ◆「戦争する国」へ軍拡・改憲推進
- ◆沖縄・辺野古米軍新基地建設強行

7月の参院選愛知選挙区(定数4)には、共産・すやま初美(新)、自民・藤川政人(現)、公明・里見隆治(現)、立民・斎藤嘉隆(現)、国民・伊藤孝恵(現)の各氏が名乗りをあげ、維新・減税も擁立の構えです。

## 日本共産党・愛知 参院選 比例 30万票台



## 日本共産党参院選 第1次全国遊説

3月19日(土) 午後2時  
名古屋・栄  
オアシス21  
市田忠義 来る  
副委員長